

火災・救急等の災害は119番へ

災害はいつ発生するか予測がつかません。いざという時のために、119番通報について説明します。
119番通報の際、次のようなことをお聞きますので、落ち着いて伝えてください。

Call 119

雲南消防119番です。
火事ですか？ 救急車ですか？



火事

- 住所(近くの目標物等、アパートの部屋番号)
- 何が燃えているか?
- 逃げ遅れは? 怪我人はいないか?
- 通報者の氏名



救急

- 住所(近くの目標物等、アパートの部屋番号)
- 誰がどうしたのか? 意識はあるか?
- 通報者の氏名



～ 消防署からのお願い ～

- 119番は「火災」、「救急」などの緊急用となっています。
災害案内は「(0854)42-0119(災害案内専用電話)」をご利用ください。
- 携帯電話からの119番通報は、通報場所の電波状態により、通話が途切れ聞き取りにくい場合がありますので、家からの119番通報は、なるべく一般加入電話をご利用ください。
- 携帯電話は、発信場所によって他の消防本部へ繋がってしまう場合があります。
場所を伝えるときは市町名からお伝えください。

平成23年度 全国統一防火標語

消したはず 決めつけしないで もう一度



◎講習会・研修会案内 防火管理者(甲種)資格取得講習会 7月7日(木)・8日(金)
少年消防クラブ員研修会 7月28日(木)

消防庁賞表彰 受賞

雲南市吉田町の田井小学校少年消防クラブ(会長 藤井 慎一 校長、クラブ員 31名)が、「優良な少年消防クラブ」として全国少年消防クラブ運営指導協議会(会長 久保 信保 消防庁長官)表彰を受賞されました。
東日本大震災の関係で総務省(東京都)での表彰式は中止となりましたが、4月19日、田井小学校において雲南消防本部消防長から代表児童(川角 亜久瑠君)に表彰楯が授与されました。



おめでとう!

熱中症対策は万全ですか ～ 知っておこう 熱中症の予防と応急手当 ～

これから暑い季節がやってきます。昨年は例年になく猛暑が続き熱中症で救急搬送された方が全国で7,000人を超え、雲南消防本部管内でも32人と多くの方が搬送されました。
熱中症にならないための予防はどうすればよいのでしょうか。また、熱中症になってしまったときの応急手当はどうすればよいのでしょうか。

熱中症の予防

- ① 体調を整える
睡眠不足や風邪ぎみ等、体調の悪いときは外出や運動を控えましょう。
- ② 服装に注意する
通気性のよい服を着て、外出の際は帽子や日傘を用いましょう。
- ③ 水分補給をこまめにする
定期的に少しずつ水分を補給しましょう。汗は水分と一緒に塩分も失われることもお忘れなく。
- ④ 年齢を考慮する
発育途中の子どもや体力が衰えはじめた高齢者は熱中症になりやすいです。

熱中症の応急手当

- ・ 涼しい日陰やクーラーの効いた室内に移動する
- ・ 衣服をゆるめて休む
- ・ 体を冷やす
冷たい水などでぬらしたタオル等を手足に当てたり、うちわ等で風を送って冷やす。
- ・ 水分補給する
水分だけでなく汗によって失われた塩分も補給する必要があります。



◎水分補給のポイント

水だけをとっても、吸収のスピードが良くないため、脱水からの回復があまり早くありません。
塩分を一緒にとることで、吸収のスピードが早くなり、回復が早くなります。
塩分をほとんど含まない水やお茶よりも塩分を含むスポーツドリンク等が効果的です。

症状が改善されなければ医療機関を受診するか救急車を要請しましょう!!